

●大学院看護学研究科の3つのポリシー

1. ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

基準となる単位を修得し、広い視野に立って専門知識を深め、かつ必要な研究指導を受けて、実践力、マネジメント力、教育力、研究能力を身につけた者及び修士論文についての研究成果の審査及び最終試験に合格した者に修士（看護学）の学位を授与します。

2. カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

看護学部看護学科を基礎としています。学部は、専門基礎、基礎看護学、小児看護学、母性看護学、成人看護学、老年看護学、精神看護学、地域看護学、在宅看護学の9領域です。本研究科では、基礎看護学に対応する看護基礎分野と、小児看護学、成人看護学、老年看護学、地域看護学、精神看護学に対応する看護実践分野の2分野を配置しています。

1) **看護基礎分野**：安全、安楽な看護技術の提供や、患者のQOLの探求は看護学研究の重要な分野です。この分野では、科学的根拠に基づく看護技術に関する研究を行う看護ケア開発領域と、様々な看護実践現場における教育方法及び継続教育について、実証的な研究を行う看護教育学領域、質の高いサービスを提供できるよう看護組織を変革する研究を行う看護管理学領域の3領域をおいています。

2) **看護実践分野**：社会構造の変化により看護を取り巻く環境が複雑化・多様化しています。そのため、この分野では、高度な看護実践のために専門的な知識、技術を習得し、看護実践現場における実態把握、課題を科学的、論理的に課題を分析し、組織的に課題解決に取り組む研究を行います。この分野は子どもとその家族の支援に関する研究を行う発達支援看護学領域、成人期から老年期における療養支援に関する研究を行う生活支援看護学領域、健康増進・予防に関する保健や看護活動及び心の健康づくりから地域における精神障害者支援に関する研究を行う地域・精神保健看護学領域の3領域をおいています。

3. アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

教育目的である看護における専門性の高い「実践力」「マネジメント力」「教育力」「研究能力」を有する看護実践リーダーとなり得る人材育成のために、以下に掲げるような学生を求めます。

- (1) 看護学の基礎知識と総合的な学力を有し、豊かな人間性と高い探求心を持ち、自立的・意欲的に看護実践の向上に寄与できる者
- (2) 看護実践リーダーとなることを志向し、熱意を持って看護学や看護実践の発展に貢献できる者
- (3) 高い倫理観を有し、地域社会等に貢献する意志と責任感を有する者